

第七葛西小学校 第2学年 道徳科年間指導計画

月	週	柱	内容項目	主題名 教材名	ねらい	教材	実施
4	1	D	自然愛護	春が いっぱい 「しぜんを かんじる」	身のまわりの春について考えることをとおして、自然のすばらしさや動植物との接し方に気づき、自然や動植物を大切にしようとする心情を育てる。	教育出版	
	2	B	礼儀	知らない 人にも 「気もちの よい あいさつ」	知らない人(来訪者)にも挨拶をしたほうがよいのかということについて考えることをとおして、挨拶が相手に与える影響や挨拶がもっている力に気づき、相手をさわやかな気持ちにさせる挨拶をしようとする実践意欲と態度を育てる。	教育出版	
	3	B	礼儀	つよいところ 「強い 心とは」	勇気を出して行うことについて考えることをとおして、物事のよいことと悪いことを区別し、よいと思うことを行う「勇気」を出すために必要なことに気づき、強い心をもってすすんでよいと思うことをしようとする実践意欲と態度を育てる。	教育出版	
5	4	C	よりよい学校生活、集団生活の充実	あいさつの しかた 「いろいろな あいさつ」	友達や先生、お客さんとのやりとりを体験的に学ぶことをとおして、時と場面に応じた挨拶のしかたを理解し、時と場面や相手に応じた挨拶ができるようにする判断力を育てる。	教育出版	
	5	A	個性の伸長	とおるさんのゆめ 「よいところをのぼす」	友達のよいところについて考えることをとおして、自分のよいところに気づき、そうしたよいところを伸ばそうとする心情を育てる。	教育出版	
	6	C	家族愛、家庭生活の充実	ぼくも手つだうよ 「かぞくとしてできることを」	あつし兄ちゃんに「たよりになるね。」と言われたときのまさるの気持ちについて話し合うことをとおして、自分にできることをすすんで行うことで家族の役に立てることに気づき、家族の一員としてできることをしようとする実践意欲と態度を育てる。	教育出版	
6	7	C	よりよい学校生活、集団生活の充実	もう やらない！ 「みんなと 楽しく 生活する」	自分の思いどおりにいかなかったときのかずと君の言動について考えることをとおして、周りにいる人たちと楽しく学校生活をおくるために大切なことに気づき、みんなと楽しく遊ぶためにはどうしたらいいかを考え、実行しようとする実践意欲と態度を育てる。	教育出版	
	8	B	感謝	花と緑のまち(調布市)	自分たちの生活を支えている人々や高齢者を尊敬し、感謝しようとする態度を育てる。	東京都道徳教育郷土資料集(第1集)	

	9	C	規則の尊重	みんなのものって？ 「みんなのものを大切に」	「ぼく」の行動をもとに約束やきまりについて体験的に学ぶことをとおして、約束やきまりの大切さに気づき、みんなが使うものやみんなのものを大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	教育出版	
	10	C	公正、公平、社会正義	ごみすて 「公正・こうへいな たいどで」	一人になったかすみ、ごみ捨てに行く二人の後ろ姿を見ながらどんなことを考えたのかについて話し合うことをとおして、人によって態度を変えないことの大切さに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で接しようとする実践意欲と態度を育てる。	教育出版	
7	11	A	節度、節制	すてきな二年生 「きそく正しく、気もちよく」	「すてきな二年生」になるために行動する登場人物のよいところについて考えることをとおして、規則正しく、気持ちのよい、節度ある生活をおくることの大切さに気づき、規則正しい生活をしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	教育出版	
	12	B	親切、思いやり	電車の中で 「あたたかい心で」	電車の中の男の人の行動について考えることをとおして、他者に対して思いやる行動をとることのすばらしさに気づき、温かい心ですすんで他者に親切にしていこうとする心情を育てる。	教育出版	
9	13	A	節度、節制	もったいない 「みのまわりにあるものを大切に」	「もったいない」と言うおばあさんの行動について話し合うことをとおして、物は限りある資源と人の努力によって作られていることに気づき、身のまわりにある物を大切に生活していこうとする心情を育てる。	教育出版	
	14	C	【B 友情、信頼】	みほちゃんと、となりの せきの ますだくん 「友だちの 気もちに なって」	みほちゃんとますだ君のそれぞれの気持ちや行動について考えることをとおして、自分の思いだけでなく友達の気持ちも考えて行動することの大切さに気づき、互いの気持ちを理解しながら接しようとする実践意欲と態度を育てる。	教育出版	
	15	A	節度、節制	しんじていいのかな 「みのあんぜんをまもる」	「わたし」の行動について考えることをとおして、情報の扱い方について考え、個人情報流出などの危険を防ぎ、安全に生活することの大切さを理解して、安心・安全な生活をしていこうとする判断力を育てる。	教育出版	
10	16	A	善悪の判断、自律、自由と責任	ぼんたとかんだ 「よいと思うことをすすんで」	ぼんたとかんだの行動について考えることをとおして、物事のよいことと悪いことに対する考えを深め、よいと思うことをすすんで行おうとする判断力を育てる。	教育出版	

	17	C	規則の尊重	いいのかな 「きまりをまもって」	たつやさんの行動について考えることをとおして、約束やきまりの大切さに気づき、きまりを守って生活しようとする判断力を育てる。	教育出版	
	18	A	希望と勇気 努力と強い意志	はりきりパンダとだらだらパンダ 「まけない心を」	やる気が起こらず、やるべきことに取り組みずに困っているあやちゃんの気持ちや行動について考えることをとおして、怠けたいという気持ちに負けずに、自分のやるべきことを行う大切さに気づき、強い意志をもって行おうとする実践意欲と態度を育てる。	教育出版	
	19	B	感謝	ありがとうはだれが言う？ 「まわりの人にありがとう」	お客さんも店員さんにお世話になっていることに気づいた「ぼく」の心情の変化について考えることをとおして、日頃からお世話になっている人に感謝の気持ちをもつことの大切さに気づき、日常生活のさまざまな場面で感謝の気持ちを表そうとする実践意欲と態度を育てる。	教育出版	
11	20	C	勤労、公共の精神	ゆかみがき 「はたらくことのよさ」	床磨きをする二人の気持ちや行動について考えることをとおして、働くことの楽しさやよさに気づき、みんなのためにすすんで働こうとする実践意欲と態度を育てる。	教育出版	
	21	C	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	わたしの町のあんこやさん 「国やちいきのよさに気づく」	日本の伝統的な食べ物であるあんこを作る地域のお店について考えることをとおして、自分たちが住む国や町のよさに気づき、国や郷土に愛着をもって親しもうとする実践意欲と態度を育てる。	教育出版	
	22	C	国際理解、国際親善	くらべてみよう 日本とせかい 「日本とせかいのちがいをを知る」	日本と世界の違いにふれ、その違いを知ることの大切さについて考えることをとおして、他国に対する理解や親しみをもつことのよさに気づき、ほかにも日本と世界ではどんな違いがあるのか調べてみようとする実践意欲と態度を育てる。	教育出版	
	23	B	感謝	きつねとぶどう 「ありがとうの気持ち」	子ぎつねを守った親ぎつねの愛情について考えることをとおして、家族などの日頃お世話になっている人々に、感謝の気持ちを伝えることの大切さに気づき、感謝の気持ちを表そうとする心情を育てる。	教育出版	
12	24	A	正直、誠実	とうふや 八べえ(文京区)	うそやごまかしをしないで、明るい心で生活しようとする心情を育てる。	東京都道徳教育郷土資料集(第1集)	

	25	D	生命の尊さ	やっ与会えたね 「はじめまして 小さないのち」	「わたし」(みさき)の心の動きを考えることをとおして、命が誕生することのすばらしさに気づき、命を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	教育出版	
	26	C	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	ぼくたちの多摩川(調布市)	郷土の文化や生活に親しみ、郷土を大切にしようとする心情を育てる。	東京都道徳教育郷土資料集(第1集)	
1	27	A	正直、誠実	お月さまと コロ 「すなおな 心で」	謝りたいのになかなか謝れなかったコロが、謝ろうと決めるまでの心情を考えることをとおして、素直な気持ちでいることの大切さに気づき、素直で明るい気持ちを大切にしていこうとする心情を育てる。	教育出版	
	28	C	よりよい学校生活、集団生活の充実	つな引き大会 「楽しい学校生活のために」	「ぼく」が6年生のようなリーダーになりたいと思ったのはどうしてなのかについて考えることをとおして、学校のみんなどの関わりを深めることで学校生活を楽しくしていけることに気づき、学校生活を自分たちで楽しくしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	教育出版	
	29	B	親切、思いやり	ぐみの木と小鳥 「あいてのことを思って」	相手のことを思いやるぐみの木や小鳥の気持ちについて考えることをとおして、相手のことを考え、親切に、温かい心で接することのよさに気づき、すすんで親切をしようとする心情を育てる。	教育出版	
	30	D	感動、畏敬の念	しあわせの王子 「心のうつくしさ」	王子とつばめの気持ちや行動について考えることをとおして、美しいものや美しい心についての理解を深め、美しいものや気高いものに感動する心情を育てる。	教育出版	
2	31	B	友情、信頼	ゆっきとやっち 「友だちとたすけ合う」	ゆっきとやっちの気持ちや行動について考えることをとおして、友達がいることのよさに気づき、友達と仲よく、助け合おうとする実践意欲と態度を育てる。	教育出版	
	32	A	個性の伸長	友だち思い名人 「自分のよさに気づき、のばす」	先生から褒められたことで自分のよさに気づいたあきらの心の変化について考えることをとおして、自分のよいところに気づき、それを伸ばしていこうとする心情を育てる。	教育出版	

3	33	C	公正、公平、社会正義	<p>ぼくたちのハッピーエール</p> <p>「だれにでも」</p>	<p>真剣な顔で苦手なことに取り組む友達を見て、自然に応援の言葉を発した「ぼく」の心の変化を考えることをとおして、自分の好き嫌いにとらわれずに友達と接することの大切さに気づき、自分の好みや利害によらず、誰にでも公正・公平に接しようとする実践意欲と態度を育てる。</p>	教育出版
	34	D	自然愛護	<p>虫が大すき——アンリ・ファーブル——</p> <p>「しぜんに親しむ」</p>	<p>身のまわりの虫たちに対するファーブルの姿勢について考えることをとおして、身近な自然や動植物に対する興味・関心を高め、自然や動植物を大切にしようとする心情を育てる。</p>	教育出版
	35	C	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	<p>日本のたから 富士山</p> <p>「国やふるさとのよさ」</p>	<p>富士山やその周りの自然についてよいと感じているまなさんの気持ちについて考えることをとおして、国や地域のよさに気づき、国や郷土に親しもうとする実践意欲と態度を育てる。</p>	教育出版